

■ドイツ：脱石炭・褐炭を議論する委員会、4大臣が共同運営へ

2018年4月11日付の報道によると、同年4月10～11日にかけて開催された閣議で脱石炭・褐炭等について議論するために今後、立ち上げる委員会をアルトマイヤー連邦経済エネルギー相（キリスト教民主同盟（CDU）、シュルツェ連邦環境相（社会民主党（SPD））、ゼーホーファー連邦内務相（キリスト教社会同盟（CSU））、ハイル連邦労働相（SPD）の4大臣が共同で運営することが決定された。この閣議決定の前には、同委員会の主導権を巡り連邦経済エネルギー相と連邦環境相との間に対立が見られたため、複数の閣僚による共同運営という妥協が図られた。同委員会の正式名称は「成長・構造転換・雇用委員会」とされ、連邦経済エネルギー省内に設置される。同委員会の設置はCDU／CSUとSPDの連立協定に記載されていたもので、(1) 石炭・褐炭火力を段階的に閉鎖する計画、(2) 石炭・褐炭火力を最終的に全廃する期日、(3) 2030年の温暖化ガス削減目標を達成するための施策、などが同委員会内で今年中に議論、決定される予定である。